

社内研修のご案内(御社の社内で行うオリジナル研修のご案内です)

数字に強い幹部を育てる！

「会社の数字」をわかりやすく指導します

数字に強い幹部を育てれば「これだけの稼ぎ」が生み出せる！

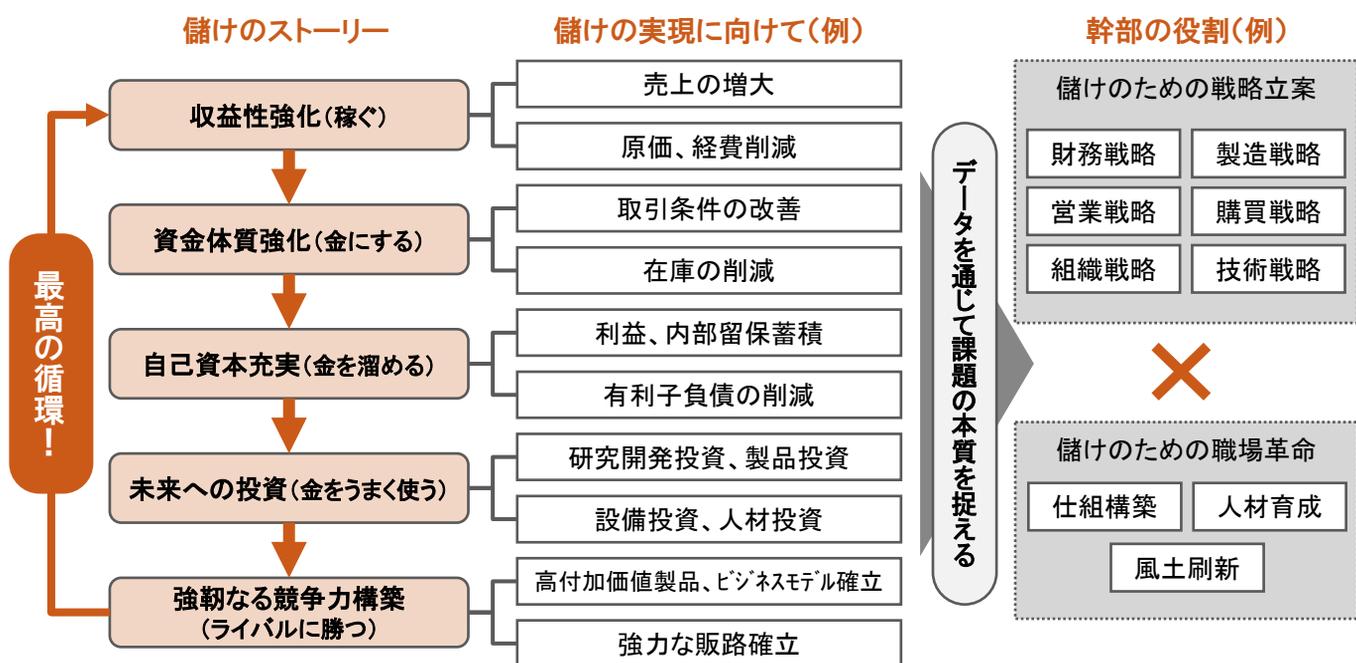
- 例1 在庫を減らせばその分が丸ごと「金」に変わる
- 例2 10万円の経費削減は200万円の増収に等しい ※利益率5%の会社の場合
- 例3 売掛金の早期回収のほうが、値引きよりもずっと「得」なことがある
- 例4 クレームや不良の繰り返しほど「目に見えないコスト」を増長させる
- 例5 結局、人の育成こそが、最大の「収益性、生産性の向上」につながる

数字に強い幹部が多いほど御社の経営基盤は盤石になります

“1日でも手軽に開催できる”、社内勉強会を開催しませんか!!

- 数字への精通は経営改革の向けての第一歩である -

参考・儲けのストーリー実現に向けての幹部の役割



ニーズにあわせて、様々なプログラムを提案いたします！(裏面参照)

パターン①：数字のセオリーを学ぶ

目的

会社でのお金の流れ、会社経理の仕組みなどをわかりやすく学ばせたい
（お金の流れを把握することで、現場に眠る様々なムダを発掘できる!）

1. 経営幹部が決算の仕組みを理解する意義は？
 - 決算の仕組みが分かるだけでお金の山を発掘できる
2. 決算とは何のためにするのか
3. 幹部なら知っておきたい3つの決算書
 - 損益計算書
 - 貸借対照表
 - キャッシュフロー計算書
4. 3つの決算書はどうつながっているのか
5. 原価計算の仕組みを理解する
6. 貸借対照表、キャッシュフロー計算書は難しい
7. 日々の取引活動はどう決算につながっていくのか
 - 取引～仕訳～試算表～月次決算の流れ
8. 要注意!これをやると「粉飾」につながる

パターン②：数字から課題を読み取る

目的

決算書を通じての経営分析手法を学び自社の課題を掌握させたい
（決算書を通じて会社経営の何がわかるのか!自社の課題は何か!）

1. 決算とは何のためにするのか
2. 幹部なら知っておきたい3つの決算書
 - 損益計算書
 - 貸借対照表
 - キャッシュフロー計算書
3. 損益計算書、貸借対照表を通じての経営分析
 - 収益性、安全性、生産性、成長性
4. 損益分岐点分析とは
 - 固定費、変動費、限界利益の意義
5. キャッシュフロー計算書から読み取れること
6. 自社の決算書を分析してみよう
 - 自社の課題は何か
 - 幹部として課題解決のために何に取り組むのか

パターン③：未来の数字を自分で創る

目的

幹部として、自部門の予算を自分で立案できる力をつけさせたい
（目標利益達成のための計画はどうやって立てるのか!そのための戦略は!）

1. 幹部なら自部門の戦略と予算を自力で立案せよ
2. 目標利益達成に向けての計画はどう立てるのか
 - 数年後に部門の利益をいくらにしたいのか
 - まずは数年後の売上を予測する
 - 変動費率の予測、固定費予算の設定
 - この計画で目標利益到達は本当に可能か?
3. 自部門財務構造改革プラン作成
 - 売上達成に向けて（数量で稼ぐか単価で稼ぐか）
 - 売上高対変動費をどう削減するか
 - 売上高対固定費をどう削減するか
 - 部門全体の生産性を上げるためには
4. 部門別発表、質疑応答、全体討議

お問い合わせから企画提案までお気軽にお問い合わせください

QRコードは
こちら



お問い合わせ

URLは
こちら

<https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPPFORM=nekf-ldkgpe-1648b29f41f462760deaae4cdc248144>